

# 書 燈



平成 30 年度こどもの読書週間行事 森英男監督講演会

## 初 心

内藤 利幸

中央図書館の総務課長として着任して4ヵ月となる。この職場に配属され、館内を見学し最初に驚いたこと、感銘を受けたことが3つある。

良い図書館の条件には十分な明るさが必要である。当館も十分な明るさが確保され、利用しやすい「本のある空間」が演出されている。この演出には設計上の工夫がされている。入口から東の奥に設けられた大きなサンクガーデンから自然光を採り入れている。中間に吹き抜けをつくって上方にも空間を上げ、照明器具も四角形型で格子状に配置する工夫をし、床だけでなく天井面も明るくなるようにしている。天井の明るい空間は、実際の明るさ以上に明るく軽やかに見えるものである。

2つ目の驚きは当館の地下1階には大きな書架と書庫があり、所蔵約100万冊のうち、55万冊を保管している。明治・大正時代の貴重な文献や書籍、郷土資料もある。バックヤードツアーではこの地下書庫も案内しているので、ご参加ください。

3つ目の感銘は、公園斜面に接した1階が建築基準法上では地下である。大倉山公園内敷地の制約からも広いフロア面積を確保できる地下方式が採用された。当館は昭和56年建築で、建築家鬼頭梓氏の設計である。鬼頭氏が生涯手掛けた図書館は30を超え、利用者に身近で開放的な空間を追求し続けた「図

書館建築のパイオニア」であった。敷地の諸制約、図書館機能など、それをたくみに設計に組みこんでいる。大きな感銘を受けるとともに感謝の気持ちでいっぱいである。また、現在当館は外壁改修工事中であるが、外壁に質感を持つ煉瓦を使用しているのは可能な限り人間的な空間を創出しようとした鬼頭氏の図書館観の表れである。

次に、本市図書館経営を取り巻く状況は、地域図書館移転拡充の時期が到来する。具体的には平成33年度には、新西図書館の移転拡充。平成37年度には、新三宮図書館が三宮周辺地区の再整備で建設される「新たな中・長距離バスターミナル」へ移転拡充が決まっている。規模は現在より大きくし、加えて新たな図書館機能を持ち、居心地の良い「本のある空間」になることを目指す。久元市長の下、図書館の更なる充実、新たな図書館移転拡充を行う機会に恵まれた中央図書館職員はこのチャンスを大きく生かさなくてはならない。

図書館は生涯学習と地域の文化的役割が重要であり、市民の方々の一層の期待がかかっている。この時期に、総務課長として着任してきた私はこの移転拡充に携われることをうれしく思いながら、職務に取り組んでいる。

(総務課長)

## 神戸市立図書館協議会発足から 10 年を迎えて

村井 博之

### 1. はじめに

平成 20 年 9 月 12 日に第 1 回目の「神戸市立図書館協議会」(以下、協議会) 会議が開催されてから、今年で 10 年目を迎えた。これまでの協議会の歩みを振り返り、今後の役割について考察していく。

### 2. 協議会の設置について

平成 13 年に文部科学省から告示のあった、「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に「図書館協議会を設置し、地域の状況を踏まえ、利用者の声を十分に反映した図書館の運営がなされるよう努めるものとする」とあることから、神戸市でも図書館協議会が設置されることとなった。

協議会は条例で設置し、定数、任期等を定める必要があるため、平成 20 年 2 月の第 1 回定例会市会で図書館協議会の設置、定数(10 名)、任期(2 年)について、神戸市図書館条例の一部改正案が可決された。(平成 20 年 3 月 14 日施行)

詳しい経緯については、「書燈」第 294 号の「図書館協議会の設置について」を参照いただきたい。

### 3. 各期協議会のまとめ

第 1 期(平成 20 年 9 月～22 年 9 月)

<協議内容>

第 1 回	図書館を取り巻く最近の状況
第 2 回	指定管理導入館の状況
第 3 回	市民の期待する図書館サービス
第 4 回	市民の期待する図書館サービス
第 5 回	市民の期待する図書館サービス(まとめ)
第 6 回	「第 1 期協議のまとめ」について

第 1 期協議会では、会の運営方針などを決定した上で、「市民の期待する図書館サービスについて」協議が行われた。事務局から出された下記の 5 項目の課題について話し合われた。

- ①市民ニーズに沿った今後の資料収集・提供の方向性について
- ②デジタル資料の収集・提供、及び所蔵資料のデジタル化
- ③子供サービスの今後の展開
- ④ボランティアや図書館サポーター等、今後の市民との協働
- ⑤図書館利用が困難な市民への、今後の図書館サービスの展開

初めての図書館協議会であったが、多様な視点からのご意見をいただき、図書館のあり方についての提言を多くいただいた。

第 2 期(平成 22 年 9 月～24 年 9 月)

<協議内容>

第 1 回	図書館事業概要説明、多文化サービス
第 2 回	レファレンス、図書館と市民図書室
第 3 回	図書館サービスの評価
第 4 回	図書館サービスの評価
第 5 回	図書館サービスの評価のまとめ

第 2 期協議会では、第 1 期で未検討であった、多文化サービスやレファレンスサービス、図書館サービスと市民図書室という課題について話し合われ、平成 23 年度の図書館サービスの評価をもって報告としている。

第 3 期(平成 24 年 9 月～26 年 9 月)

<協議内容>

第 1 回	今後の図書館協議会のテーマについて
第 2 回	図書館サービスについて
第 3 回	図書館サービスの評価、資料収集について
第 4 回	資料収集について
第 5 回	資料収集について
第 6 回	図書館サービスの評価、資料収集について

第 3 期協議会では、第 2 期までの議事と、市民満足度調査で多く寄せられていた予約サービスへの要望を受け、「予約」「リクエスト」「選書」について協議が行われた。その結果として、「神戸市立図書館資料取扱要綱」が改正され、「神戸市立図書館資料収集基準」「資料収集における運営上の目安」が新たに定められた。

また、ここでの「予約」「リクエスト」の議論を受けて、平成 28 年 6 月に、かねてから懸案事項となっていた予約件数の上限設定を行った。それまでは予約の受付件数に制限はなかったが、1 枚の図書館カードにつき 20 件までに改めた。これは、現在も継続して運用している。

第 4 期(平成 26 年 9 月～28 年 9 月)

<協議内容>

第 1 回	今後の協議の進め方について
第 2 回	図書館が果たすべき読書支援について
第 3 回	図書館が果たすべき読書支援について
第 4 回	平成 26 年度事業評価について 図書館が果たすべき読書支援について

第5回	平成26年度事業評価について 図書館が果たすべき読書支援について
第6回	平成28年度の図書館事業計画について 第4期協議会のまとめ

第4期協議会は、読書支援という図書館本来の役割に立ち返り、今後取り組むべき事業について協議が行われた。この期の協議を受けて、児童書専門の出版社と連携しての行事が開催された。また、保育所や幼稚園への読み聞かせや、図書の巡回配本が開始された。さらに、地理的な要因で図書館への来館が難しい市民のため、自動車図書館のステーション再編（垂水区北部への運行開始）や市民図書室等での予約図書受取サービスを実現した。

第5期（平成28年9月～開催中）

<協議内容>

第1回	今後の図書館協議会のテーマについて
第2回	図書館と書店・出版界との連携について
第3回	平成28年度の図書館事業評価について 図書館と書店・出版界との連携について
第4回	図書館と書店・出版界との連携について
第5回	平成30年7月に開催予定

第5期協議会では図書館と書店・出版界との連携について協議が進められた。「出版不況」「読書離れ」と言われる中で、町の書店が減って行くなど、読書をめぐる環境が大きく変わってきている。このような状況を踏まえて、今後、図書館と出版界がどのように連携していけば、市民の読書の機会を確保できるのかを議論している。

また、電子図書館についても第4期から引き続いて、他都市・他機関の導入事例などをご紹介いただき、検討や議論を重ねている。神戸の図書館でも、平成30年6月22日から試行的に導入している。

#### 4. 協議会の今後の役割について

現在、神戸の図書館では、西区美賀多台での文化・芸術ホール建築に併せた西図書館の移転・整備計画や、三宮地区のバスターミナル整備に伴う三宮図書館の拡充計画が進んでいる。これら大きなプロジェクトの実現に際して、協議会の議論は、運営に関する貴重なヒントとなると思われる。

更に、日々の図書館業務においても、これまで多くの提言を頂戴し、実現できた事業がいくつもある。今後も、図書館職員だけでは気付けなかった事柄などについて、協議会での議論を踏まえて実現していくことが期待される。（総務課担当係長）

#### 平成29年度「こうべ改善～案・DO・トライ～」努力賞を受賞して

布川 沙紀

神戸市では「こうべ改善～案・DO・トライ～」として、平成18年度より「業務改善事例表彰制度」を実施している。これは、日常業務を通じて実践された業務改善を、「協働」「市民サービス向上」「事務改善」「技術改善」の部門別に表彰するもので、表彰によって個人・組織を問わず職場を活性化することを目的としている。

この度、中央図書館の市民サービス係と企画情報係が協力して実施した「自動車図書館『みどり号』のホームページにおけるPR」が、「市民サービス向上」部門で努力賞を受賞した。この取り組みは、平成29年4月より新車両となった「みどり号」の利用促進を目的とし、主な改善点は3点ある。

まずは、ホームページの構成変更が挙げられる。神戸市立図書館のホームページ右側のサイドバーに「自動車図書館」の 카테고리を追加し、自動車図書館の関連情報をまとめて直下に移動することで、検索や案内が容易に出来るようになった。

2点目は、自動車図書館の利用案内ページを更新したことである。今までであれば、自動車図書館の利用方法が知りたい場合には、PDF形式のデータを開く必要があった。そのため、データが開けない端末をお使いの方や読み上げ機能を利用する方などは、欲しい情報をすぐに得られなかった。そこで、案内ページを大幅に書き直し、読み上げにも対応するようにした結果、ワンクリックで知りたい情報に辿り着けるようになった。

そして3点目の工夫は、巡回区ごとの巡回場所の詳細情報および地図の掲載である。区内の巡回情報を一覧で見られるようにしたことで、担当外の職員でも問い合わせ対応がスマートに行えるようになった。また「神戸市施設マップ」へ登録し、巡回場所の住所と地図を掲載することで、土地勘のない方でも位置が特定しやすくなっている。

「利用者が使いやすいものにする」ことが、職員のサービス向上へと繋がったことから、今回の改善については肯定的な評価を受けた。今後も仕事の効率化やさらなるサービス向上を図り、アイデアを出し合って業務改善を行っていきたい。

なお、教育委員会内では図書館を含めた3組が努力賞を受賞し、3月には表彰式が開催された。雪村前教育長より表彰状と副賞の贈呈があり、「今回の反省点や他部局での取り組みを参考に、継続して業務改善を行ってほしい」との言葉を頂いた。（調査相談係）

## —電子図書館の試行サービスを開始—

神戸市と株式会社楽天との協定により、6月22日（金）から「KOBE 電子図書館 by RakutenOverDrive」の約2年間の試行サービスが始まった。楽天から、電子図書館用に構築された専用サイトと電子図書館のアクセス権が提供されている。



電子図書館の試行は、楽天子会社 OverDrive 社の豊富な英語図書から選んだ500冊と、日本語のレシピ本や健康関連本などの実用書や小説約1,000冊、10,000冊あまりの青空文庫、合わせて11,500冊での開始となった。今後は利用の傾向を見つつ買い足し、最終的には13,000冊程度とする予定である。

電子図書の利用は、最初の手続きに来館する必要はあるが、あとは24時間どこでも借りて読める上、返却も容易である。試行なので、電子図書の冊数や種類は限られてしまうが、これまで図書館を利用しにくかった層にとっては利便性向上に役立つだろう。

また、特徴的なものとして、「Read Along」という英語の読み上げ機能付きの電子図書がある。ネイティブスピーカーによって本文が読み上げられ、該当箇所がハイライトで示される。読み上げのスピードは調節が可能である。2020年からの小学校での英語の教科化に向けて、家庭でも英語に親しんでもらえればと考えている。

このサービスを利用するには、神戸市立図書館の利用カードを持つ人が、図書館窓口で電子図書館専用のID・パスワードを申請する必要がある。初日の申込みは317人で、これまで図書館を利用しなかった方も多く申し込まれたと思われる。このサービスの試行により、新たな利用者が紙媒体の図書も利用してくれることを願っている。

(総務課担当課長・鎌田)

## —中央図書館外壁改修工事—

中央図書館では、平成28年8月6日に一部レンガ片の落下が発見されたため、緊急対策として防護ネットを設置して安全の確保に努めてきた。

このたび、平成30年4月から12月下旬までの期間で外壁改修工事を行う。利用者の皆様には、工事期間中に起こる振動や騒音を周知したうえで、ご理解・ご協力を要請し、閉館せず通常どおり開館することにした。

また、全体工事の進捗状況によっては、工事期間延長も予定している。

(総務係長・渋谷)

## —マナビィ単位認定制度への参加について—

幅広い世代に意欲的に生涯学習に取り組んでもらうことを目的とするKOBE生涯学習パスポート「新・マナビィ単位認定制度」（地域連携推進課所管）に図書館も参加し、対象講座を実施することとなった。講座参加の希望者にパスポートを配布し、認定印を押印。単位数により認定証や記念品を贈呈する。

参加他施設と連携することで、新たな来館者を呼び込み、より多様な方々に対する多彩なイベント開催へと広がることが期待される。（企画情報係・西山）

## —地域商業活性化支援事業に関する協定の締結—

兵庫駅北側に位置する御旅センター市場共同組合と兵庫図書館はこれまで同組合の地産地消の取組みを紹介する企画展を実施するなど連携を図ってきた。このたび、まちの魅力とにぎわいの創出を図る目的で商店街が企画する事業を支援する「平成30年度地域商業活性化支援事業」について同組合と兵庫図書館は協定を締結。地域の図書館として人的ネットワークも生かしながら今後さらに連携をすすめ、兵庫駅周辺地域の振興に取り組むこととなる。

(総務課企画情報係担当係長・幣)

## —手帳—

人事 3.31 退職

三谷 忠 弘 (総務課長)

渋谷 敬 一 (総務課総務係長)

芦田 宏 (利用サービス課調査相談係) 嘱託

4.1 人事異動

内藤 利 幸 (総務課長)

渋谷 敬 一 (総務課総務係長) 再任用

荒井 俊 明 (総務課担当係長)

秋定 敦 (総務課担当係長) 再任用

畠 雅 則 (利用サービス課担当係長) 再任用

4.20 人事異動

高橋 一 郎 (総務課企画情報係)

乾 あさ子 (総務課企画情報係)

小椋 あゆみ (利用サービス課市民サービス係)

上田 亜 弓 (利用サービス課市民サービス係)

益田 ゆ か (利用サービス課調査相談係)

波多野 麻 里 (利用サービス課調査相談係)

布川 沙 紀 (利用サービス課調査相談係)

宮崎 恒 子 (利用サービス課資料係)

小嶋 沙也加 (利用サービス課資料係)

研修 6.21 館内研修

行事 4.28 こどもの読書週間講演会

その他 平成29年 神戸市司書人材育成計画策定

6.24・25 神戸市職員(司書)採用試験